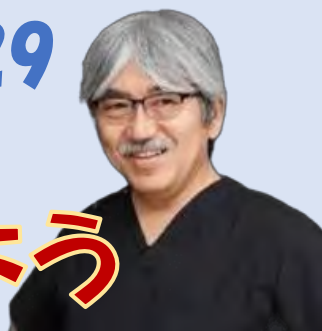
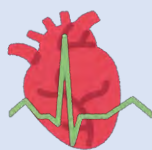




不整脈IQを鍛えよう

～ 48時間心房細動が止まらなると 脳梗塞のリスクが格段に高くなる ～

心房粗動、心房細動の大きな問題は、心不全や脳梗塞を起こしてしまうことです。心不全は血液を送り出す心臓のポンプの不調で起こります。

特に心房細動では1分間に350～400回も
の電気が心房を流れ続け、約半分が下の
部屋の心室に流れ込みます。心室は
収縮と弛緩（しかん）を頑張ろうとし
ますが、流れ込んだ電気は1分間に150
～200回前後にもなります。心筋は疲れ
て力が落ちて血液をうまく送り出せま
せん。これが急性心不全につながり、
心房細動が治らなければ慢性心不全に
なっていくます。

このように心房細動と心不全の関係は
理解しやすいですが、心房細動と脳梗
塞の関係はどうでしょうか。なぜ脳梗
塞を引き起こすのでしょうか？

通常の心拍数は1分間に60回程度ですが、
それに合わせて心房と心室が収縮して
血液を心臓から送り出します。医学生
には餅つきに例えて教えていました。
餅をこねてつくように、心房と心室が
順次収縮する協調作業です。

血液には赤血球・白血球・血小板や
糖分・ミネラルや溶け込んだ二カワ
成分など多くのものが含まれている
ので、よどまないように心臓は常に
動いています。工事現場で水に溶か
したセメントを固まらせないように
コンクリートミキサーが休みなくか
き混ぜているのと同じです。

心房細動になると、心房はあたかも
感電しているかのようにけいれんし
てしまい血液を心室に送り込めませ
ん。血液は心房の中でよどんでしま
い、固まりやすくなってしまう。血
栓ができて脳に運ばれ、血管が詰
まってしまうと脳梗塞が引き起こさ
れてしまうのです。一般には48時
間心房細動が止まらなると脳梗塞の
リスクが格段に高くなります。